

感染症発生動向調査事業に基づく病原体検索および分析に検体を提供された方へ

当所では、感染症発生動向調査事業に基づき、病原体の検索および分析を行っています。提供された検体の検査結果から得られた病原体情報は、感染症法の届出基準に基づき報告され、報告数は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページに公開され、広くご覧いただけます。

大阪府内（堺市および一部の中核市を除く）の医療機関で、感染症法に規定された、1類から5類に分類される疾患の疑いがあると診断された方の検体は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の検査が実施されています。

本事業でご提供いただきました検体やそれに付随の情報につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目	エムポックス（Mpox）に関する研究(2306-01-3)
1. 研究対象者	1) 2022年8月以降に感染症発生動向調査事業または医療機関からの依頼検査に基づきエムポックス（Mpox）疑いで検体が搬入された方 2) 2011年以降、感染症流行予測調査事業に参加され、包括同意された方 3) 2008年4月以降に大阪府の個別施策層向けHIV検査相談事業においてHIV/STI検査を受検された方 4) 2019年4月以降に国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究に参加された方
2. 研究概要	Mpox患者試料中のウイルスゲノム量および感染性ウイルス量の測定を行います。患者試料および分離ウイルス株を用いた全ゲノム解析、分離ウイルス株に対する中和抗体価を指標にした血清疫学調査を実施します。Mpox陰性患者試料中の病因となるウイルスの探索を行います。
3. 研究期間	令和8年4月1日～令和11年3月31日
4. 研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、発疹及び水疱スワブ、発疹及び水疱痂皮 情報：年齢、性別、発症日、検体採取日、臨床症状、ワクチン接種歴
5. 研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

ウイルス課

電話番号：06-6972-1402 or

mail：kurata@iph.osaka.jp

感染症流行予測調査における採血にご協力いただいた方へ

当所では、厚生労働省感染症流行予測調査事業に基づき、麻疹・日本脳炎・水痘・ヒトパピローマウイルス・B型肝炎の抗体価調査を実施しております。集計・解析された結果は、『感染症流行予測調査報告書』として厚生労働省から発行され、今後の予防接種計画の作成や感染症の流行を予測するための資料として利用されています。また、結果は国立感染症研究所感染症情報センターのインターネットホームページ (<http://www.nih.go.jp/niid/ja/yosoku-index.html>) にも公開し、広くご覧いただけるようになっています。

本事業にご協力頂き、包括同意をいただいた方の血清につきましては、研究目的で利用させていただきますことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたいえで取り扱っています。

研究題目		エムポックス (Mpox) に関する研究 (2306-01-3)
1.	研究対象者	1) 2022年8月以降に感染症発生動向調査事業または医療機関からの依頼検査に基づきエムポックス (Mpox) 疑いで検体が搬入された方 2) 2011年以降、感染症流行予測調査事業に参加され、包括同意された方 3) 2008年4月以降に大阪府の個別施策層向け HIV 検査相談事業において HIV/STI 検査を受検された方 4) 2019年4月以降に国内流行 HIV 及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究に参加された方
2.	研究概要	Mpox 患者試料中のウイルスゲノム量および感染性ウイルス量の測定を行います。患者試料および分離ウイルス株を用いた全ゲノム解析、分離ウイルス株に対する中和抗体価を指標にした血清疫学調査を実施します。Mpox 陰性患者試料中の病因となるウイルスの探索を行います。
3.	研究期間	令和8年4月1日～令和11年3月31日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、発疹及び水疱スワブ、発疹及び水疱痂皮 情報：年齢、性別、発症日、検体採取日、臨床症状、ワクチン接種歴
5.	研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」

大阪健康安全基盤研究所

ウイルス課

電話番号：06-6972-1402 or

mail：kurata@iph.osaka.jp

大阪健康安全基盤研究所で実施する研究に、医療機関を通じて病原体などの試料を提供された方へ

当所では、病原体の流行状況や治療薬の有効性などを把握するための研究として、医療機関を通じた病原体の収集および分析を行っています。提供された試料の分析結果から得られた病原体情報は、学術誌や学会発表を通じて社会に還元することで共有され、感染症の様々な対策を開発・実行するために活用されます。

大阪府内および他地域の医療機関で、感染症疾患の疑いがあり、病原体の解析が必要と判断された方の試料は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送られ、各疾患関連の解析が実施されています。

本研究のためご提供いただきました試料やそれに付随の情報につきましては、研究終了後、別の研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました情報は加工を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		エムポックス (Mpox) に関する研究 (2306-01-3)
1.	研究対象者	1) 2022年8月以降に感染症発生動向調査事業または医療機関からの依頼検査に基づきエムポックス (Mpox) 疑いで検体が搬入された方 2) 2011年以降、感染症流行予測調査事業に参加され、包括同意された方 3) 2008年4月以降に大阪府の個別施策層向け HIV 検査相談事業において HIV/STI 検査を受検された方 4) 2019年4月以降に国内流行 HIV 及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究に参加された方
2.	研究概要	Mpox 患者試料中のウイルスゲノム量および感染性ウイルス量の測定を行います。患者試料および分離ウイルス株を用いた全ゲノム解析、分離ウイルス株に対する中和抗体価を指標にした血清疫学調査を実施します。Mpox 陰性患者試料中の病因となるウイルスの探索を行います。
3.	研究期間	令和8年4月1日～令和11年3月31日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：血液、咽頭拭い液、尿、発疹及び水疱スワブ、発疹及び水疱痂皮 情報：年齢、性別、発症日、検体採取日、臨床症状、ワクチン接種歴
5.	研究責任者	ウイルス課 主幹研究員 倉田貴子

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」
大阪健康安全基盤研究所
ウイルス課
電話番号：06-6972-1402 or
mail : kurata@iph.osaka.jp